



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(令和元年)12月25日号 No.1813

目次

■ 2019年のプーチン大統領の大規模記者会見	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2020年1月号のご紹介	6
■ トピックス	7
住友商事がトルクメンガスに鋼管供給／7	
貿易経済に関する日ロ政府間委員会会合／7	
丸紅がロシア向けイチゴ栽培用温室を受注／7	
観光庁がウズベクとの交流促進で覚書締結／7	
日本ウズベキスタン首脳会談を開催／7	
名古屋とタシケントがパートナー都市協定に／8	
日本・ウズベキスタンビジネスフォーラム関連のプレスリリース／8	
■ マイナンバーについての経済産業省からのお知らせ	10

2019年のプーチン大統領の大規模記者会見

はじめに

2019年12月19日、プーチン大統領は毎年恒例となっている内外の記者団を集めた大規模記者会見を開催した。大規模記者会見は2001年に始まり、今回が15回目となった。今回の会見には過去最高となる1,895人のジャーナリストがエントリーし、約1,300人が会場を訪れたと伝えられている。プーチン大統領は4時間を超える会見で政治・外交、経済、社会問題からプライベートなことまで70以上の質問に答えた。大規模記者会見の内容については内外の様々なメディアで伝えられているが、プーチン大統領が憲法規定見直しに関して発言(大統領の任期を連続2期の「連続」という文言を削除すること)したことを受け、任期満了を迎える2024年での退任を示唆したのではないかとという憶測が上がり、大きく注目されていた。また、直前に動きのあったウクライナや米国との関係についても注目された。一方で、中国や日本などとの関係や経済に関する発言もあったが、それらについてはあまり取り上げられていない。そこで以下では、今回の大規模記者会見におけるプーチン大統領の主な発言要旨をテーマ別に整理しておく。なお、記者会見の全容はクレムリンのウェブサイトに掲載されているので、ご関心の向きにはそちらをご覧ください。

→<http://www.kremlin.ru/events/president/news/62366>